

議 事 録

会議名	平成30年度 第2回 福岡市地域公共交通会議
日時	平成30年10月24日（水）10時00分～10時45分
会場	福岡市役所本庁舎5階 第3会議室
議事概要	議題1 橋本駅循環ミニバスの試行運行期間の延長等について 議題2 板屋脇山線乗合タクシーの運行について
発言者	発言要旨
事務局	●平成30年度第2回福岡市地域公共交通会議を開会する。
事務局	<委員紹介>
事務局	●福岡市情報公開条例に基づき、会議は原則公開としており、傍聴を受け付けている。 ●委員9名に出席いただき、福岡市地域公共交通会議規則第6条第3項に基づき、本会議は成立した。 ●議事録については、後日、福岡市のホームページに掲載する。 ●議事の進行については、福岡市地域公共交通会議規則第6条第2項に基づき、会長にお願いする。
事務局	議題1 橋本駅循環ミニバスの試行運行期間の延長等について <説明> 議題1
委員	○平成29年12月など利用者が大きく減っているのは、運行内容の見直しによる影響か。また、通勤通学定期券をすでにお持ちの方への対応はどうするのか。待機タクシーを廃止しても問題なく運行できるのか。乗れなかった方はお断りするのか、それともタクシーを呼んで待ってもらうのか。
委員	○グランドパスや通勤通学定期券等の利用割合はどの程度なのか。
事務局	●利用者が減った理由として、平成29年1月は運行本数を11便から10便に減便している。また、平成29年12月からは運行ルートを見直し、使用車両を運転手を除く12名から9名に車両を小型化、また運賃も170円から200円に値上げしているため、利用者が一時的に大きく減っている。 定期券の利用割合については一番多いものがグランドパスであり、利用者全体のうち38%とかなり高い利用割合を示している。通常の単価は200円であるがグランドパスは単価が低く、80円程度であるため、利用者がいるにも関わらず収入があまり得られていない。そのため、採算性の向上を目的として、今回の変更を行うものである。

	通勤通学定期券、エコルカード、ひるパス等、他の種類の定期券の利用割合は全体の1割程度と聞いているが、ミニバスのみで定期券をお持ちの方はいない。また、これまでは待機タクシーを2台運用していたが、今回のグランドパスの利用の廃止により、恒常的な積み残しが発生しない程度に利用者は減ると見込んでいる。ミニバスに乗れない方については、別の公共交通機関であるバスやタクシーをご利用いただくよう、地域の方々に呼びかけるとともに、西鉄タクシーだけでなく地域のタクシー会社の連絡先を地域のポスター等に記載することで周知するよう、協議を進めているところである。
会長	●すでに定期券をお持ちの方への対応はどうなるのか。
事務局	●一般的には払い戻しで対応すると聞いている。 ※会議終了後、確認。 ミニバス運行区間単独で定期券を販売していないため、払い戻しの対象者はいないとのこと。
会長	●その他の定期券の割合について1割程度とのことだが、全ての定期券それぞれの利用割合は把握していないのか。
事務局	●そこまでは把握していないと聞いている。
会長	●その他の定期券利用は通勤通学定期券、エコルカード等その他の定期券をすべて合わせて1割程度ということか。
事務局	●そのとおりである。
委員	○乗れなかった方にはタクシー会社の番号を周知するとのことだが、通常のタクシー料金でご利用していただくということか。
事務局	●そのとおりである。
委員	○実際に積み残しがあったかどうかはどうやって確認していくのか。
事務局	●積み残しがあった場合は、その都度運転手にチェックしていただき、確認していきたいと考えている。 (その他意見なし)
会長	●それでは福岡市地域公共交通会議として議題1について了承してよろしいか。

委員	○了承した。
事務局	議題２ 板屋脇山線乗合タクシーの運行について ＜説明＞ 議題２
委員	○那珂川市での乗降はないということか。
事務局	●そのとおりである。
会長	●被災している道路の復旧はいつまでかかる見込みか。
事務局	●年度末までと見込んでいるが、天候等により、工事が遅れることも考えられるため、今の段階ではっきりした時期を申し上げることはできない。 (その他意見なし)
会長	●それでは福岡市地域公共交通会議として議題２について了承してよろしいか。
委員	○了承した。
会長	●以上で議題については終了し、進行を事務局にお返しする。
事務局	●次回の開催時期は未定であり、決まり次第ご案内する。 ●今回の会議は以上で閉会する。